

# 町制70周年を迎える 令和7年度予算が成立!

あしまし

令和7年第2回定例会は3月4日から3月14日まで開催されました。  
 町長から提出された議案は、損害賠償に係る専決処分報告1件、令和6年度補正予算に係る専決処分の承認1件、令和6年度補正予算10件、令和7年度当初予算11件、条例の制定及び一部改正14件、人権擁護委員に係る諮問1件。追加議案として令和6年度補正予算、副町長の選任、教育長の任命、固定資産評価委員の選任の4件であり、すべて原案のとおり、可決しました。また、委員会提出議案1件が提出され、可決しました。  
 一般質問は9人の議員が2日間にわたり行いました。

## 【一般会計予算の概要】

総額は93億6900万円

前年度比4億2200万円の増額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。

歳出は、ごみ焼却施設及び旧し尿処理施設跡地整備事業や少子高齢化に伴う義務的経費の増加が見込まれる。内部管理経費の節減や事務事業の効率的な執行に努め、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別し、事業費の圧縮を図った。

令和6年度末の町債現在額は、

前年度比約4億4500万円減の約81億1400万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。



町の花 サギソウ

## 【主な予算】

『歳入』

町税2.8%増!

個人町民税は、事業所得に物価上昇の影響が懸念されるものの、給与所得の伸長により増額が見込まれる。

固定資産税は、宅地評価額の下落及び大規模償却資産の増加が無いことから、減額となる。

町債発行は予算総額の10%以内!

ごみ焼却施設及びし尿処理施設跡地整備事業や町道堅田五百刈線流雪溝整備事業など過疎対策債で約6億円を発行。前年度比で4020万円増の7億3020万円を計上。

『歳出』

○総務費

町制70周年記念事業

755万円

町制70周年を記念して、さまざまな事業・イベントを実施。

町公式ホームページ更新事業

925万円

利用者の利便性向上のため、町の公式ホームページを一新。

○民生費

乳児(0歳~3歳児)

おむつ券支給事業

528万円

乳児に対するおむつ券支給事業の対象者を2歳から3歳までに引き上げるための経費。



## ○商工観光費

猪苗代観光協会DMO設立

6500万円

予算に係る主な質疑については、4ページから5ページの『予算特別審査委員会』をご覧ください。

猪苗代観光協会をDMO(観光地域づくり法人)に登録し、積極的な誘客推進を図る。

## ○土木費

町空き家改修等支援事業

2400万円

空き家の利活用を促進するため、改修費用を支援。

社会資本整備総合交付金事業

2億3090万円

町道の舗装長寿命化修繕計画策定業務委託や町道堅田五百刈線流雪溝整備工事。

## ○教育費

猪苗代小学校屋内運動場特定

1億4000万円

児童の安全のため、屋内運動場の天井を改修。

猪苗代高校広域入学支援事業

414万円

猪苗代高校の活性化のため、遠方から入学する生徒を支援。

委員会提出議案

## 一般会計予算の主な使い道

町民一人当たり752,210円

※3月末の人口12,415人で試算し、災害復旧費と予備費は含みません

衛生費 64,473円 (16,475円)	農林水産業費 45,132円 (▲739円)	商工観光費 35,695円 (▲2,874円)	土木費 131,614円 (2,108円)
民生費 126,142円 (328円)			消防費 37,041円 (3,955円)
総務費 103,285円 (16,740円)			教育費 113,223円 (9,032円)
議会費 8,144円 (▲13円)			公債費 87,461円 (3,600円)

※ ( ) 内は対前年比

## 議会運営委員会 提出議案

### 猪苗代町議会個人情報の保護に関する条例一部を改正する条例

【提案理由】懲役及び禁錮を廃止し、拘禁刑を創設することを内容とする「刑法等の一部を改正する法律」が施行されることに伴い、所要の改正が必要となるため提案する。

【改正概要】条例第53条から第55条までの規定中「懲役」を「拘禁刑」に改めた。

賛成全員 可決